

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・地域の活性化の取組でイベントが頻繁に催され、加えて観光客の増加で消費が高まっている。
		ゴルフ場（経営者）	・以前より予約が入ってきており、かなり良化するものと考えられる。天変地異がない限りは、良い数字が出る。
(沖縄)	やや良くなる	衣料品専門店（経営者）	・年を越せば街も活気づき、かなり良くなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅ローン金利は低利率なため、今後の建築単価上昇を予測し建築プランの相談件数が増えている。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	・入域観光客は増えているが、外国人観光客が増えているため、当社の商品の売上にはつながらず見込がない。
		一般小売店〔靴・袋物〕（経営者）	・例年よりも暖かい日が続いているので、冬物の動きがかなり鈍い。ファッション自体にもその影響が出ている。
		百貨店（営業部）	・沖縄地区は大暖冬の天候予報もあり、衣料品の動きが期待できないことと、インバウンドの伸びも落ち着くと思われるので、前年実績を確保するのが精一杯である。
		スーパー（販売企画担当）	・原材料や物流価格の値上がりなどは今後も続くと思われるため、1品単価は前年比プラスを維持する。
		コンビニ（エリア担当）	・競合出店による営業環境の変化から1年経過したため、各店の経営水準も落ち着いている。客の動向も大きな変化はないと思われる。ただ流動性の少ない地域ゆえ、人員不足による店舗力の低下が懸念される。
		コンビニ（エリア担当）	・ハード面、ソフト面での課題はあるが、インバウンド客を中心とした県経済の安定はまだ続くかと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・気候のせい、季節ものの動きが良くない。街を見渡すと、地元の人の回遊が少なく、観光客が大半を占めているように感じる。ここ数年、景気はそれほど良くなっている感じはせず、今後もまだまだ様子見かとみている。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・特に変わらない。引き続き外国人観光客の影響が大きい。
		旅行代理店（マネージャー）	・売上が伸びるような材料があまりない。
		通信会社（サービス担当）	・あまり変化はみられない。
		観光名所（職員）	・予約状況から判断している。
住宅販売会社（代表取締役）	・2017年4月に予定されている消費税増税を意識した建築相談が増えてきている。		
やや悪くなる	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・売上は11月は前年より大分悪い。周囲の同業者をみても価格競争や在庫が増えて厳しい状況である。	
	通信会社（店長）	・年末までは好調を維持するが、年が明けると特に購買を増やす材料もないので落ち着いてしまうのではないかと。	
悪くなる	商店街（代表者）	・日本全体をみると、新聞にもあるように伸びている企業もあるようだが、当地の商店街においては、値段でも大型店にはなかなか対応できず、中国人観光客等の爆買いは一部の店舗でしかみられない。大変危機感がある。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・最低賃金の値上げで、全体のスタッフのバランスを取って給与調整をすると、年間一千万近い人件費増になる。価格に転嫁することができないので、経費削減、シフト調整をきつくして節約に努めているが厳しいのが現状である。画期的な商品開発、独自の仕入ルートの開拓、従業員満足度の向上など、やらなければいけないことが多い。	
	観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測できる今後の稼働率は、前年同月の実績を大幅に下回る見込みである。	
企業動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（総務） 建設業（経営者）	・前年同月比の推移の動き方から予想して判断している。 ・見込み客からの具体的な相談件数が、増加傾向にある。
(沖縄)	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・特に大きな需要の見込みはなく、横ばいの見通しである。
		輸送業（代表者）	・与那国は陸上自衛隊工事と台風災害復旧で忙しいが、他の先島地区は低調である。ただし、石垣の生コン生産量が増加傾向に動きつつある。
		輸送業（営業）	・外国人を含めた観光客増により、外食店舗、ホテル、ドラッグストア、ディスカウント店舗など様々な分野で需要が増えているものの、物流インフラが追い付いていない。ドライバー不足も追い打ちをかけ、景気拡大へ徐々に悪影響が出てくることが考えられる。

		広告代理店（営業担当）	・県内景気は好調なインバウンドに下支えされ順調に推移しているものの、どこまで続くのか不安感を抱いているようにも感じる。総じて県内企業の販促投資は業績と比例しているとは言い難く、見通しは不明瞭である。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集室）	・年明けから集中的に求人広告が増加する。
(沖縄)	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・年末の繁忙期等で求人数も増える。
	変わらない	学校 [大学]（就職担当）	・年末年始の消費で活気が増すのではないかと期待しているものの、数値等に表れるような劇的な好景気状態にまでは至らないように思う。したがって、現況のまま推移していく可能性が高いのではないか。
	やや悪くなる	人材派遣会社（総務担当）	・労働者派遣法の改正に伴い、求職者の動きに今後、どう影響していくのかわからない状況である。
		学校 [専門学校]（就職担当）	・マイナンバー制度や、株価の動向に不安感がある。
	悪くなる	-	-